

県内の学校で開催 車いすフレンズ&出前講座

車いすをアジア諸国へ
【工業高校で開催しました】

車いす整備技術講習会

「いわて車いすフレンズ」では、例年活動に取り組んでいる工業高校等の生徒、教員が一堂に会し、「車いす整備技術講習会」を開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講師が各参加校を訪問する形で開催されました。

7月17日、県立水沢工業高等学校で行われた講習会では、生徒6名、教員1名が参加し、有限会社東日本福祉機器商会の工藤彰一さんを講師に、車いすの解体作業から取り掛かりました。生徒らは、パートゾーとのサビ取り、ノーパンクタイヤへの交換、ブレーキやタイヤ回転数の調整など、講師の実技を交えた講義に熱心に耳を傾けながら、協力して車いすを整備し、整備のポイントや工具の扱い方など、これから各校で行う活動に必要な知識を学びました。

8月末現在、講習会は、県内6校で開催され、「一つでも気を抜いたら作業をすると、ケガが起きたり車いすが使用できなくなったりするかもしない」と聞いたので、気をつけていきたい」「学校ごとの講習会のため、わからないことをピンポイントでじっくり聞くことができてよかったです。

【小・中・高等学校で開催しています】

「福祉のしごと出前講座」

岩手県福祉人材センターでは、将来を担う福祉人材の確保・育成を目的に、福祉施設・事業所の職員が小・中・高等学校を訪問して仕事の魅力ややりがいを伝える「福祉のしごと出前講座」を開催しています。

7月7日、花巻市立花巻中学校で行われた講座では、160名を超える生徒が参加し、特別養護老人ホームアイリス花巻（花巻市）の介護職員宮澤道治さんから、「高齢者福祉のしごと」について学びました。宮澤さんは、勤務先の施設を紹介した後、介護の仕事を志したきっかけや、施設の1日の流れ、入浴設備・食事の説明等を行い、「仕事を大変だが、利用者様に喜んでもらえることがやりがいにつながっている。介護は地域社会に貢献でき、人の役に立てる魅力的な仕事」と締めくくりました。



車いすの整備を行う
水沢工業高等学校の皆さん

いわて車いすフレンズとは

県内の工業高校生が中心となって、利用されなくなった車いすを修理・整備し、アジア諸国で車いすを購入できずに困っている人々にプレゼントするボランティア活動で、2003年に活動を開始し、これまで19か国に延べ965台の車椅子を贈っています。この活動は、各校による修理活動のほか、輸送ボランティア、輸送経費の一部に充てるための書き損じはがき等の収集ボランティア、アジア各国の現地コーディネーターなど、多くの関係者によるボランティアのリレーで実施されています。

